

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

# 人権のひろば

〒市民協働安全課 (TEL) 354-8179 (FAX) 354-8316

## 戦後80年を迎えて

唯一の戦争被爆国である日本では、これまで、戦争の悲惨さや平和の尊さを忘れないために、その経験や教訓を語り継いできました。

しかし、戦後80年を迎えて、戦争を直接体験した人が少なくなり、戦争を知らない世代が人口の大半を占めるようになった今、次世代にどのように平和の大切さを伝えていくかが大きな課題となっています。

本市では、戦争と平和について考える機会として、毎年7月から8月にかけて、核兵器の恐ろしさや命の尊さについて学ぶ「原爆と平和パネル展」を実施しています。



原爆と平和パネル展



“戦争のはなしを聞こう”  
平和講演会

このほか、被爆者の家族や被爆者と交流があった人で、被爆者本人から聞き取った被爆体験や戦前・戦後の歩みを語り継ぐ活動を行っている人々を長崎からお招きし、「戦争のはなしを聞こう」平和講演会を開催しています。

戦争の記憶が薄れゆく時代だからこそ、当時の出来事を知り、想像し、そして平和の尊さを見つめ直すことが必要です。

皆さんも、関心を持つことから始めてみませんか。



## 第1回 四日市みなとランフェスティバル開催

本号と同時配布の号外でもお伝えしている通り、2月1日に、北勢エリア唯一のロードレース「四日市みなとランフェスティバル」が開催されました。

5kmの部では、ゲストランナーの東京2020オリンピックマラソン日本代表で、本市出身の中村匠吾さん、ランニングアドバイザーの三津家貴也さんと共に、記念すべき最初のレースのスターターを務めました。

私自身も両ゲストと共に、10kmの部に出場し、ダイナミックに変わる中心市街地を横目に駆け抜け、四日市港では潮の香りを感じ、走り切ったあとには、本市の魅力が全身で堪



(写真左) 5kmの部スタート (写真右) 5kmの部スタートあいさつを三津家さん(左)、中村さん(右)と共に

能した心地よい疲労感と充足感が残りました。

参加した多くのランナーも、なかなか走ることのできない港を駆け抜けることで、その魅力を認識、あるいは、再発見して、身近に感じていただけたと思います。

今後も、笑顔と活気あふれるまちづくりに向けて、全力で走り続けます。



笑顔があふれるランナー